

リンクB 運動・スポーツを楽しむための健康・体力づくり

施策1 ライフステージに応じた運動・スポーツの推進

目標・方向性（関連性）

日常生活の中での運動習慣の定着を図る
 生きがいを感じられるスポーツ環境を推進する

- ア 健康ちば21（第2次）の推進
- イ 働き盛り・子育て世代のスポーツの推進（リンクC・E・F）
- ウ シニアスポーツの推進（リンクC）

令和元年度の主な施策 （計画） 【予算額（千円）】 担当課・室・班	実績・工程表				
	29実績	30実績	元計画	2	3
<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ立県ちば推進月間 【350】 体育課 親子体験イベント ・体育課ホームページの拡充 【一】 体育課 ・市町村生涯スポーツ担当者 研修会での啓発 【一】 生涯スポーツ ・生涯スポーツ指導者養成・ 活用事業 【910】 生涯スポーツ （千葉県生涯スポーツ 公認指導者等養成講習会） （千葉県スポーツリーダー 養成講習会） （認定スポーツ指導者研修会） （地域スポーツ指導者研修会） ・広域スポーツセンター事業 【400】 生涯スポーツ ・生活習慣病予防支援 人材育成事業 【800】 健康づくり支援課 ロコモティブシンドローム 予防に関する普及啓発 【164】 健康づくり支援課 健康・運動指導者育成研修 【一】 健康づくり支援課 市町村独自の体操の情報提供 	<p>9クラブで実施 のぼり掲揚・リーフレ ット・クリアファイル 配布</p> <p>64名参加</p> <p>市町村に、ロコモテ ィブシンドロームの普及 啓発にかかるパンフレ ットを配布した。</p> <p>1回 78名参加</p>	<p>11回実施</p> <p>56名参加</p> <p>市町村向け、ロコモ ティブシンドローム の普及啓発パンフレ ットを作成。</p> <p>1回 42名参加</p> <p>ホームページへの 掲載</p>	<p>7回程度</p> <p>市町村へ、ロコモテ ィブシンドロームの 普及啓発にかかる パンフレットを配布 する。</p> <p>1回開催予定</p> <p>ホームページへの 掲載</p>		

リンクC-1
に記載

<p>・千葉県老人クラブ連合会活動促進等事業及び老人クラブ活動等社会活動促進事業 【6,300】高齢者福祉課 千葉県老人クラブ連合会 健康づくり・介護予防支援事業</p> <p>・明るい長寿社会づくり推進機構事業補助金の中の「全国健康福祉祭参加事業」 【11,849】高齢者福祉課 全国健康福祉祭への選手団派遣</p> <p>・千葉県福祉ふれあいプラザ運営事業 (介護予防トレーニングセンターの取組) 【90,500】高齢者福祉課 *介護予防トレーニングセンターの取組だけを抽出することが不可能なため、福祉ふれあいプラザの指定管理費を計上</p>	<p>秋田県 23 種目 平成 29 年 9 月 9 日～12 日 165 人参加</p> <p>利用者 42,803 人</p>	<p>富山県 22 種目 平成 30 年 11 月 3 日～ 6 日 141 人参加</p> <p>利用者 41,539 人</p>	<p>和歌山県 27 種目予定 令和元年 11 月 9 日～ 12 日</p>	
--	--	---	---	--

- 継続して事業を進めていく予定のもの
⇒ 進捗状況に合わせて事業内容を展開していくもの

平成 30 年度主な施策の効果（成果・課題）	令和元年度主な施策の概要【予算額（千円）】 担当課・室・班
<p>○スポーツ立県ちば推進月間【608】 体育課 推進月間関連イベントとして「スポーツで元気いっぱい！親子体験イベント」を県内 11 クラブで実施し、近隣の小学校と連携して、親子の触れ合いを通してスポーツに親しむきっかけとなる機会を設けました。10 市町の 58 校に参加要請をし、752 名が様々な運動に取り組みました。</p> <p>また、県民への周知を図るため、会場にはのぼりを掲出し、参加者にはクリアファイルを配布して、広報活動の充実を図りました。</p> <p>○体育課ホームページの拡充【一】 体育課 「お役立ちリンク集」をつくり、県内スポーツ関係機関のホームページをまとめました。スポーツに関する情報を「見つけやすく」・「わかりやすい」情報提供するため、コンテンツの充実を図り、最新情報が常に提供できるよう更新作業に努めました。</p> <p>○市町村生涯スポーツ担当者研修会での啓発【一】生涯スポーツ 市町村生涯スポーツ担当者に参加を求め、生涯スポーツの振興に関する諸問題についての研修を深めるとともに、講話・事業説明・研究協議を実施し、担当者の資質向上を努めました。</p> <p>○生涯スポーツ指導者養成・活用事業【910】生涯スポーツ（再掲）リンク C 施策 1</p> <p>○広域スポーツセンター事業【400】生涯スポーツ（再掲）リンク C 施策 3</p>	<p>○スポーツ立県ちば推進月間【350】 体育課 推進月間関連イベント（親子体験）を県内 10 ケ所程度で体験講習会等を開催予定。 県民への周知を図るため、広報活動の充実を図ります。</p> <p>○体育課ホームページの拡充【一】 体育課 スポーツに関する情報を「見つけやすく」・「わかりやすい」情報提供するため、コンテンツの充実を図り、最新情報が常に提供できるよう更新作業に努めます。</p> <p>○市町村生涯スポーツ担当者研修会での啓発【一】生涯スポーツ 市町村生涯スポーツ担当者に参加を求め、生涯スポーツの振興に関する諸問題についての研修を深めるとともに、講話・事業説明・研究協議を実施し、担当者の資質向上を努めます。</p> <p>○生涯スポーツ指導者養成・活用事業【910】生涯スポーツ 地域のスポーツ指導者に対する県民の意識が徐々に高まってきており、更に多くの指導者を養成します。（リンク C 施策 1 再掲）</p> <p>○広域スポーツセンター事業【400】生涯スポーツ クラブや市町村の課題を捉え、そのニーズに合った形態での集会・研修会を開催し、設立支援・自立活性化支援を行ってまいります。各集会・研修会では、内容を充実させ、参加者数を増やします。運営協議会では、広域スポーツセンター事業の課題について検討し、総合型地域スポーツクラブを中心とした地域コミュニティづくりと県民のスポーツ活動の充実を推進します。</p>

○生活習慣病予防支援人材育成事業

(ロコモティブシンドロームに関する普及啓発)

【800】健康づくり支援課

ロコモティブシンドロームについて、健康
ちば 21(第2次)で目標として掲げる県民の認
知度向上を図るため、バイエフエムのラジオ
CMにてロコモティブシンドローム予防の放送
を行い、広く普及・啓発を行いました。ま
た、ロコモティブシンドロームについてのパン
フレットを作成しました。市町村等へ配付
予定です。

○生活習慣病予防支援人材育成事業

(健康・運動指導者育成研修)

【145】健康づくり支援課

ロコモティブシンドローム予防及びフレ
イル予防を普及啓発できる人材育成として、
個々の身体の状態に合わせた適切な運動指導
技術の向上を図るため、10月28日に健康・
体力づくり指導者研修会を開催し、42名が参
加しました。

また、各市町村独自の体操についての取組
を把握し、県ホームページに新たに2市町を
追加掲載し、現在19市町の26種類の体操に
ついて情報提供しています。

○老人クラブが行うシニア・スポーツの

推進への支援【6,300】高齢者福祉課

千葉県老人クラブ連合会が実施する事業に対
して助成するとともに、市町村の老人クラブ連
合会や個々の老人クラブの活動を支援するた
めに市町村への間接補助を行いました。

県老人クラブでは、シニア・スポーツとし
て、ゲートボールやグランドゴルフ等のスポ
ーツ大会の地区予選及び県大会を県内約10ヶ
所で開催し、優秀な成績を収めた人を、全国健康
福祉祭(ねんりんピック)に派遣する県の代表
として推薦しました。

○明るい長寿社会づくり推進機構事業補助金
(全国健康福祉祭参加事業)【13,429】

高齢者福祉課

平成30年度の全国健康福祉祭(ねんりんピ
ック)は、第31回 富山大会で、11月3日～
11月
6日までの4日間開催されました。世代間・地
域間の交流を深め、本県の高齢者スポーツを
推進しました。

○生活習慣病予防支援人材育成事業【964】

健康づくり支援課

ロコモティブシンドロームについて、健康
ちば 21(第2次)で目標として掲げる県民の認
知度向上を図るため、市町村へパンフレット
を配布します。

「健康・体力づくり指導者研修会」を開催
し、ロコモティブシンドローム予防及びフレ
イル予防を普及啓発できる人材を育成しま
す。

各市町村独自の体操についての取組を把握
し、県ホームページにおいて情報提供しま
す。

○老人クラブが行うシニア・スポーツの

推進への支援【6,300】高齢者福祉課

千葉県老人クラブ連合会が実施する事業に対
して助成するとともに、市町村の老人クラブ連
合会や個々の老人クラブの活動を支援するた
めに市町村への間接補助を行います。

県老人クラブでは、シニア・スポーツとし
て、ゲートボールやグランドゴルフ等のスポ
ーツ大会の地区予選及び県大会を県内約10ヶ
所で開催し、優秀な成績を修めた人を、全国健康
福祉祭(ねんりんピック)に派遣する県の代表
として推薦します。

○明るい長寿社会づくり推進機構事業補助金
(全国健康福祉祭参加事業)【12,040】

高齢者福祉課

令和元年度の全国健康福祉祭(ねんりんピ
ック)は、第32回 和歌山大会で、11月9日～11
月12日までの4日間開催されます。世代間・地
域間の交流を深め、本県の高齢者スポーツを推
進します。

○千葉県福祉ふれあいプラザ運営事業
(介護予防トレーニングセンターの運営)

【90,500】高齢者福祉課

千葉県福祉ふれあいプラザの介護予防トレーニングセンターにおいて、高齢者も使用しやすい運動機器や専門のスタッフを配置し、利用者一人ひとりに合った運動プログラムを提供し、運動支援を行いました。

また、多くの高齢者が利用できるよう、介護予防トレーニングセンターについて、ホームページやポスター等で広く周知しました。

○千葉県福祉ふれあいプラザ運営事業
(介護予防トレーニングセンターの運営)

【90,500】高齢者福祉課

千葉県福祉ふれあいプラザの介護予防トレーニングセンターにおいて、高齢者も使用しやすい運動機器や専門のスタッフを配置し、利用者一人ひとりに合った運動プログラムを提供し、運動支援を行います。

また、多くの高齢者が利用できるよう、介護予防トレーニングセンターについて、ホームページやポスター等で広く周知します。

リンクB 運動・スポーツを楽しむための健康・体づくり

施策2 障害のある人の運動・スポーツの推進

目標・方向性（関連性） 障害のある人がスポーツに親しみやすい環境整備を推進する

ア 障害者スポーツ・レクリエーションの推進（リンクC・E）

イ スポーツ施設の活用（リンクC・E）

令和元年度の主な施策（計画） 【予算額（千円）】担当課・室・班	実績・工程表				
	29実績	30実績	元計画	2	3
<ul style="list-style-type: none"> 千葉県障害者スポーツ大会 【8,983】障害者福祉推進課 全国障害者スポーツ大会選手団派遣 【43,741】障害者福祉推進課 手をつなぐスポーツのつどい 【2,000】障害者福祉推進課 障害者スポーツ・レクリエーションセンター運営事業 【20,118】障害者福祉推進課 障害者スポーツ教室等開催事業 【1,875】障害者福祉推進課 障害者スポーツ大会等コーディネーター派遣事業 【9,200】障害者福祉推進課 障害者スポーツ交流大会 【3,400】障害者福祉推進課 障害者スポーツ施設利用促進講座 【10】障害者福祉推進課 障害者スポーツ用具貸出事業 【4,425】障害者福祉推進課 障害者スポーツ組織の整備及び競技体験会の実施 【-】体育課・障害者福祉推進課 特別支援学校での体育的施設・用具の活用 【-】特別教育支援課・体育課 特別支援教育における学校体育に係る研究指定【-】特別支援教育課 特別支援学校を拠点とした障害者スポーツの振興 【12,000】特別支援教育課 	<ul style="list-style-type: none"> 10 競技実施選手 2,113 名 第 17 回大会選手 69 名 役員 44 名 知的障害のある人のレクリエーション大会の実施 選手 1,555 名 付添職員等 736 名 役員等 287 名 施設の貸し出し 利用者数 52,395 名 初級障害者スポーツ指導員養成講習会の開催 登録者 33 名 障害者スポーツ指導者研修会の開催 参加者 14 名 障害者アスリート部会の実施 競技体験会の実施 12 競技 23 事業（予定） 体育施設の開放校数：10 校 障害者スポーツ団体への開放校数：5 校 用具の貸出校数：8 校 障害者スポーツ団体への貸出校数：5 校 矢切特別支援学校を研究指定して実践 	<ul style="list-style-type: none"> 10 競技実施選手 2,160 名 (H31.3 現在) 第 18 回大会派遣選手 54 名 役員 46 名 知的障害のある人のレクリエーション大会の実施 選手 1,422 名 付添職員等 718 名 役員等 277 名 施設の貸し出し 利用者数 45,292 名 (H31.3 現在) 初級障害者スポーツ指導員養成講習会の開催 第 1 回登録者 34 名 第 2 回登録者 35 名 障害者スポーツ指導者研修会の開催 参加者 20 名 5 市町にコーディネーターを派遣し、体験会等を開催 企業等と障害のある人のチームによる交流大会を開催 市町村・公共スポーツ施設職員を対象に障害者対応に係る講座を開催 貸出を行っている障害者スポーツ用具の整備 障害者アスリート部会の実施 競技体験会の実施 13 競技 22 事業 千葉特別支援学校、榎の実特別支援学校を研究指定して実践 特別支援学校における障害者スポーツの普及・啓発 障害者スポーツを介した交流及び共同学習 	<ul style="list-style-type: none"> 陸上競技他 10 競技実施 第 19 回大会への選手派遣 知的障害のある人へのレクリエーション大会の実施 施設の貸し出し 初級障害者スポーツ指導員養成講習会の開催 障害者スポーツ指導者研修会の開催 企業等と障害のある人のチームによる交流大会を開催 市町村・公共スポーツ施設職員を対象に障害者対応に係る講座を開催 障害者スポーツ用具の貸出 概ね 5 市町村へコーディネーターを派遣 障害者スポーツ強化・支援部会の実施 競技体験会の実施 八日市場特別支援学校を研究指定して実践 職員の障害者スポーツの研修 障害者スポーツを介した交流 障害者スポーツ用具の整備 特別支援学校の児童生徒を対象とした障害者スポーツの普及 体育施設の貸出 体育用具の貸出 		

→ 継続して事業を進めていく予定のもの

⇒ 進捗状況に合わせて事業内容を展開していくもの

平成 30 年度主な施策の効果（成果・課題）	令和元年度主な施策の概要【予算額（千円）】 担当課・室・班
<p>○千葉県障害者スポーツ大会【8,983】 障害者福祉推進課</p> <p>障害者スポーツの振興を図り、障害のある人の自立と社会参加の推進に寄与することを目的として、関係団体等と連携し、平成 30 年 5 月に陸上競技を中心として、ほか 10 競技（水泳競技、フットベースボール競技、卓球競技、アーチェリー競技、ボウリング競技、バレーボール競技、バスケットボール競技、ソフトボール競技、フライングディスク競技、サッカー競技）を実施しました。平成 30 年度は選手 2,063 名（H31.3 現在）、競技役員等 2,330 名（H30.12 現在）が参加しました。</p> <p>また、障害のある人のスポーツによる社会参加の機運を盛り上げ、その裾野を広げていくため、大会の一部として競技団体等と連携し、普及・育成のための練習会を実施しました。</p> <p>○全国障害者スポーツ大会選手団派遣【43,741】 障害者福祉推進課</p> <p>平成 30 年 10 月に福井県で開催された「第 18 回全国障害者スポーツ大会（福井しあわせ元気大会）」へ選手 54 名、役員 46 名、総勢 100 名の選手団を派遣し、金メダル 50 個、銀メダル 20 個、銅メダル 13 個の合計 83 個のメダルを獲得しました。</p> <p>また、同大会出場に備え、選手の競技力の向上を目的に競技ごとに 3 回程度の強化練習会を実施しました。</p> <p>○手をつなぐスポーツのつどい【2,000】 障害者福祉推進課</p> <p>知的障害のある人とその家族、福祉関係者等が一堂につどい、互いに手をつなぎ、スポーツを通じて体力の増進と親睦を図り、併せて社会の人々から多くの支援と理解を得ることを目的として、玉入れ、パン喰い競走などのレクリエーション大会を実施しました。平成 30 年度は選手 1,422 名、付添職員等 718 名、役員等 277 名が参加しました。</p> <p>○障害者スポーツ・レクリエーションセンター 運営事業【20,118】障害者福祉推進課</p> <p>障害のある人のスポーツ・レクリエーション活動の拠点施設として、障害者スポーツ・レクリエーションセンターの施設の貸し出しを行い、平成 30 年度は 45,292 名（H31.3 現在）が利用しました。また、センター独自の教養講座（7 講座）やセンター利用者による交流会等を実施し、障害のある人の参加機会の充実を図りました。</p>	<p>○千葉県障害者スポーツ大会【9,296】 障害者福祉推進課</p> <p>障害者スポーツの振興を図り、障害のある人の自立と社会参加の推進に寄与することを目的として、関係団体等と連携し、令和元年 5 月に陸上競技を中心として、ほか 10 競技（水泳、フットベースボール、卓球、アーチェリー、ボウリング、バレーボール、バスケットボール、ソフトボール、フライングディスク、サッカー）を実施します。また、障害のある人のスポーツによる社会参加の機運を盛り上げ、その裾野を広げていくため、大会の一部として競技団体等と連携し、普及・育成のための練習会を実施します。</p> <p>○全国障害者スポーツ大会選手団派遣【43,037】 障害者福祉推進課</p> <p>令和元年 10 月に茨城県で開催される「第 19 回全国障害者スポーツ大会（いきいき茨城ゆめ大会）」へ選手団を派遣します。また、同大会出場に備え、選手の競技力の向上を目的に競技ごとに 3 回程度の強化練習会を実施します。</p> <p>○手をつなぐスポーツのつどい【2,000】 障害者福祉推進課</p> <p>知的障害のある人とその家族、福祉関係者等が一堂につどい、互いに手をつなぎ、スポーツを通じて体力の増進と親睦を図り、併せて社会の人々から多くの支援と理解を得ることを目的として、玉入れ、パン喰い競走などのレクリエーション大会を実施します。</p> <p>○障害者スポーツ・レクリエーションセンター 運営事業【22,202】障害者福祉推進課</p> <p>障害のある人のスポーツ・レクリエーション活動の拠点施設として、障害者スポーツ・レクリエーションセンターの施設の貸し出しを行います。また、センター独自の教養講座（8 講座）やセンター利用者による交流会等を実施し、障害のある人の参加機会の充実を図ります。</p>

○障害者スポーツ教室等開催事業【1,875】

障害者福祉推進課

多様な障害者のスポーツ活動に対応するため、専門的な知識を活かし、安全にスポーツ活動の援助を行う障害者スポーツ指導員は、平成31年3月末現在、県内で773名が登録されています。県では、初級障害者スポーツ指導員養成講習会を継続して実施しており、平成30年度は69名が新たに登録しました。

また、日頃スポーツに接することの少ない障害者への指導を行う者を対象に、障害者スポーツ指導者研修会を継続して実施しており、平成30年度は20名が(H31.3現在)参加しました。

○障害者スポーツ大会等コーディネーター

派遣事業【9,200千円】障害者福祉推進課

市町村が地域の大学やクラブチーム等と連携し、障害者スポーツ大会や体験会、教室等を主体的に取り組むように促すため、県内5市町にコーディネーターを派遣し、体験会等を開催しました。

○障害者スポーツ交流大会【3,400】

障害者福祉推進課

障害者スポーツを広く県民に周知することにより、障害者スポーツを通じた、障害のある人の理解促進を図るため、企業チームと障害のある人のチーム等が交流試合を実施しました。

○障害者スポーツ施設利用促進講座【100】

障害者福祉推進課

障害のある人が地域でスポーツできる場を創出するため、県内唯一の障害者優先スポーツ施設である千葉県障害者スポーツ・レクリエーションセンターのノウハウを活用し、各市町村職員や各スポーツ施設職員を対象に、障害のある人向けのプログラムや合理的配慮の方法等の講座を実施し、19名が参加しました。

○障害者スポーツ用具貸出事業【4,425】

障害者福祉推進課

興味はあっても体験することができなかった障害のある人がスポーツに親しめるようにするため、ボッチャ用具や競技用車いすを新たに購入し、千葉県障害者スポーツ・レクリエーションセンターで貸出を行っている障害者スポーツ用具を充実させました。

○障害者スポーツ組織の整備及び競技体験会の実施【一】体育課・障害者福祉推進課

リンクD・Eと連携

パラリンピックに1人でも多くの千葉県ゆかりの選手を輩出するため、関係団体と連携し、競技団体の組織化を進め、強化体制の充実を図ることを目的に、障害者アスリート部会を1回(予定)開催しました。

○障害者スポーツ教室等開催事業【1,875】

障害者福祉推進課

多様な障害者のスポーツ活動に対応するため、専門的な知識を活かし、安全にスポーツ活動の援助を行う障害者スポーツ指導員の養成講習会を実施します。また、日頃スポーツに接することの少ない障害者への指導を行う者を対象に、障害者スポーツ指導者研修会を実施します。

○障害者スポーツ大会等コーディネーター

派遣事業【9,200】障害者福祉推進課

県内にコーディネーターを派遣し、市町村が地域の大学やクラブチーム等と連携し、障害者スポーツ大会や体験会、教室等を主体的に取り組むように促します。

○障害者スポーツ交流大会【1,500】

障害者福祉推進課

企業等のチームと障害のある人のチームによる障害者スポーツ交流大会を開催し、障害者スポーツを広く県民に周知することにより、障害者スポーツを通じた、障害のある人の理解促進を図ります。

○障害のある人のスポーツ施設利用促進講【0】

障害者福祉推進課

県内唯一の障害者優先スポーツ施設である千葉県障害者スポーツ・レクリエーションセンターのノウハウを活用し、各市町村職員や各スポーツ施設職員を対象に、障害のある人向けのプログラムや合理的配慮の方法等の講座を実施し、障害のある人が地域でスポーツできる場を創出します。

○障害者スポーツ用具貸出事業【0】

障害者福祉推進課

障害者スポーツの貸出を広く実施することで、興味はあっても体験することができなかった障害のある人がスポーツに親しめるようにします。

○障害者スポーツ組織の整備及び競技団体への支援【15,000】体育課・障害者福祉推進課

リンクD・Eと連携

障害者スポーツ競技団体が、障害者スポーツの普及のために実施する体験会等に対し助成を行い、障害のある人もない人も様々な障害者スポーツに触れる機会を作るとともに、県内の競技団体の設立を促進することで障害者スポーツの振興を図ります。

また、運動能力の高い障害者が競技への興味・関心を高め、競技に参加できる環境を作るため、競技体験会を13競技22日程開催しました。

○特別支援学校での体育的施設・用具の活用

【一】特別教育支援課・体育課

障害のある人が生涯にわたってスポーツ活動を楽しむための基盤づくりとして特別支援学校が活用できるように学校開放や用具の貸出等に努めます。

- ・ボッチャ用具等の貸し出しによる障害者スポーツの普及 貸出21回
- ・特別支援学校の広報を目的にアクアラインマラソン会場でボッチャの体験ブースの設置や授業で制作した作品を展示したイベントを実施しました。

○特別支援教育における学校体育に係る

研究指定【一】特別支援教育課

県の教育課題に即して学校体育に関する教育内容や方法について調査研究を行い、県教育の改善及び充実に資することを趣旨とする取組であり、平成30年度は特別支援学校を拠点とした障害者スポーツの振興として、県立千葉特別支援学校と県立楨の実特別支援学校を指定しました。

- ・千葉特別支援学校の研究概要
障害者スポーツを普及するため、トップアスリートの交流会や研修会や交流活動に取り組みました。
- ・楨の実特別支援学校の研究概要
ボッチャを主として、近隣の小・中・高等学校へ障害者スポーツの普及に取り組みました。

○特別支援学校を核とした障害者スポーツの

振興【12,000】特別支援教育課

特別支援学校を障害者スポーツのセンターとして、地域の小・中学校や高等学校や地域の方々と共に障害者スポーツを行うなどのスポーツを通じた交流及び共同学習を実施することにより、各地域における障害者スポーツの振興が図られるようにします。

- ・障害者スポーツ大会等にトップアスリートの招へいし障害者スポーツの理解を深める。
障害者スポーツ大会等にトップアスリートの招へい3回
- ・障害者スポーツ用具の整備
ボッチャ一式、ボッチャ用八角的、ゴールボール2個、県立特別支援学校全36校
ボッチャ用ランプ、肢体不自由15校（予定校含）
- ・障害者スポーツの指導者研修 12回

○特別支援学校での体育的施設・用具の活用

【一】特別教育支援課・体育課

障害のある人が生涯にわたってスポーツ活動を楽しむための基盤づくりとして特別支援学校が活用できるように学校開放や用具の貸出等に努めます。

○特別支援学校を核とした障害者スポーツの

振興【15,000】特別支援教育課

特別支援学校を障害者スポーツの拠点とするために、障害に応じたスポーツ種目の備品整備を行い障害者スポーツ団体等と連携を図りながら、学校ごとに各種スポーツの推進とともに、地域における生涯スポーツの拠点づくりをすすめていきます。

- ・障害者スポーツの拠点校としての競技用具の整備
- ・視覚、聴覚、知的（流山高等学園）の重点種目備品整備
- ・知的28校、肢体不自由・病弱7校への備品整備
- ・障害者スポーツ団体と連携した教職員の障害者スポーツ研修
- ・拠点校7校を会場に教職員の障害者スポーツ研修の実施

<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者スポーツを活用した交流活動 特別支援学校 15校 16回 ・ ボッチャ用具等の貸し出しによる障害者スポーツの普及 貸出 21回 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者スポーツの競技ルールや用具の使用方法等、特別支援学校の教職員が指導員等から学ぶ講習会を開催します。 ・ 特別支援学校におけるトップアスリート等による実技指導や講演会の開催 ・ 特別支援学校体育連盟主催スポーツ大会等での開催 特体連主催のスポーツ大会や盲・聾学校を対象とする大会でのアスリートによる講演や実技披露を行います。 ・ 盲・聾・流山高等学園等拠点校での開催 拠点校 7校において、学校行事等で地域も交えて障害者スポーツについて学びながら、障害者への理解を深めることを目指します。
---	---